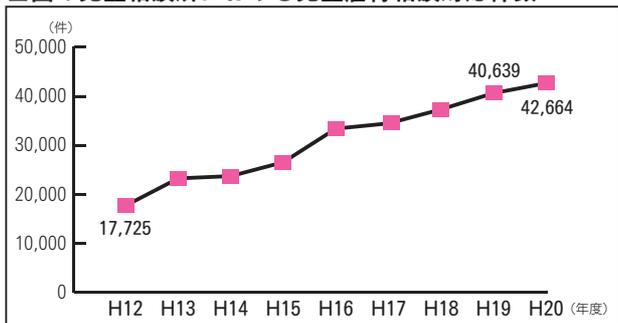


児童虐待の実態。 最近の傾向

年々増える
児童虐待相談件数

全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数



テレビなどで毎日のように報道される児童虐待。実際、左表のように全国の児童相談所

所で受ける虐待に関する相談件数は年々増え続けており、平成20年度の受付件数は42、664件となっており、前年度の40、639件から約5%上昇しています。また、千葉県全体でも前年

度の1、660件から2、376件に上昇しており、世間の関心は高いものの、今なお児童虐待が増加していることが分かります。

どんなことが虐待になるの？

児童虐待とはどのようなことをいうのでしょうか。虐待というと身体への暴力を考

- ◆ 身体的虐待 II 殴る・ける・熱湯をかける・タバコの火を押しつける・冬に戸外へ閉め出す・縄などで拘束するなど
- ◆ ネグレクト (育児放棄) II 食事を与えない・下着などひどく不潔なままにする・自動車や家に放置する・病気やけがをしても病院に連れていかないなど
- ◆ 心理的虐待 II 言葉による脅かし・子どもの心を傷つける言葉を繰り返す・子どもに配偶者などへの暴力を見せ

る・他の兄弟と差別するなど
◆ 性的虐待 II 性的な行為を強要する・わいせつ目的で被写体にするなど

児童虐待相談件数が増えた原因は？

児童虐待相談件数増加の原因としては、次のようなことが指摘されています。

- ◆ 過度なストレス社会
- ◆ 子育てより自分の楽しみを優先する親の増加
- ◆ 子どもの人権尊重意識の高まり
- ◆ 経済的な困難
- ◆ 核家族化の進展による子育ての孤立化

こんな子どもを見たら通告を

- ◆ 児童虐待を受けている子どもには、次のような特徴が見られます。児童虐待を疑う事例を見かけたら、迷わず下記の通告先にご連絡ください。
- ◆ 体重が増えない、身長が伸びない
- ◆ 身体や衣服が不潔
- ◆ 不自然なげがやあざがある
- ◆ 親になつかない、おびえる、家に帰りがたがらない

また、児童虐待が疑われる家庭の周辺では、次のような状況が見られます。

- ◆ 日常的に、激しいどなり声や子どもの泣き声が聞こえる
- ◆ 日常的に、子どもが家から閉め出されている
- ◆ 日中、幼児だけにいる

通告する際には「もし虐待でなかったら」「近所との関係が悪くなるのでは」と考え

誰の心の中にもある虐待の芽

銚子児童相談所長
五木田 一郎 さん



言うことを聞かない子どもに対する暴力は、言うことを聞かせるためにエスカレートしがちです。しかし、子どものしつけのためと思って与えた罰も、子どもの心身に深い傷を残すかもしれません。誰の心の中にも虐待の芽はあります。

虐待を疑われた親の多くは、ほとんどの場合、子どものしつけのためだと主張します。

しかし、しつけとは、子どもの理解度に配慮しながら、基本的な生活習慣・生活能力、他人への思いやりなどを身につけさせることであり、暴力で親に従わせようとするものではありません。

たとえ親がしつけと考えていたとしても、その行為が子どもの心身を傷つけ、健やかな成長、発達を損なう場合は虐待です。

虐待を
見たら聞いたら
悩んだらこちらまで

福祉課 ☎73-0096

銚子児童相談所 ☎0479-23-0076

社課に通告しなければならなくなりました。

児童虐待を防ぐ 「Yo・Jo・Pa・Pa」

◆「さ」支え合い

お母さんや家族の力だけでの子育てには限界があります。時にはご近所、友人などの力を借りてみては。

◆「し」しつげに暴力は用いない

しつげを理由に暴力を正当化する保護者もいますが、身体的・心理的暴力によるしつげは虐待です。

◆「す」過ぎない

子育てを一人だけで頑張り過ぎない。子どもの成長段階に合わせて、子どもなりの成長を信じて、余裕を持って子育てを。

◆「せ」責任

親としての責任の自覚です。子どもの体や心の健康に配慮し、健やかな成長を助ける姿勢を身につけましょう。

◆「そ」相談

子育てに困ったら誰かに相談してみましょう。家族や友人が頼りになる場合もあります。それでも解決できない問題は、市の相談機関や児童相談所へ相談してみてください。

どうぞご利用ください 匝瑳市の安心子育て支援施策

匝瑳市の主な子育て支援施策は次の通りです。これらの他にも様々な子育て支援施策があります。各担当課にお気軽にご相談ください。

働くママたちを 応援します

- ◆放課後児童クラブ（指導員が保護者に代わって下校した児童を保護・指導します）
問 学校教育課 ☎73-0094



子育てに関する 相談に応じます

- ◆土曜延長保育（保護者の就労形態多様化による保育需要に対応します）
- ◆つどいの広場（保育士資格を持つ子育てアドバイザーが相談に乗ります）
問 福祉課 ☎73-0096

11月にオープンした
須賀児童クラブ▶

ママと赤ちゃんの 健康を守ります

- ◆こんにちは赤ちゃん事業（生後4か月未満の赤ちゃんがいる家庭に乳児訪問員が伺い、子育てに関する相談に乗ります）
- ◆妊婦健診（公費負担回数を5回から14回へ拡充しました）
- ◆乳幼児医療（就学前乳幼児の通院・入院医療費の自己負担分を保険診療の範囲で全額助成します）
- ◆新生児訪問事業
- ◆乳幼児健診・健康相談
問 健康管理課 ☎73-1200

子どもにぬくもりを与えて欲しい



匝瑳市長
江波戸 辰夫

なんでこんなに殺伐とした世の中になってしまったのでしょうか。テレビやラジオでは毎日のように殺人事件のニュースが流れています。親が子を殺し、子が親を殺す恐ろしい時代になってしまいました。

昔の言葉に「親に孝、夫婦相和し」という言葉があります。これは、子どもは親孝行をし、夫婦はお互いに思いやりを持って仲良くしなさい、という意味です。このことを言うことやれ教育勅語だ、戦前教育だと批判する人がいますが、現代社会に一番欠けているのはこの言葉ではないでしょうか。

私は結婚式と呼ばれるといつもこういう話をします。晴れて結婚した夫婦は、お互いの目を見て会話をしたい。家族は皆お互いにあいさつをして欲しい。赤ちゃんを産んだお母さんは、お乳が出るならぜひ母乳で育てて欲しい。そこにはお母さんと赤ちゃんのふれあい・ぬくもりがあります。

そのふれあい・ぬくもりがしっかりとってさえいれば、親子の殺人などということにはならないと思うのです。

取材を終えて

本特集の取材にあたり、ご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。

取材を通して感じたのは、これからはお母さん1人に頼る育児ではなく、行政も含めた地域のみんなが支える子育て社会の実現が大切だということ。

育児に悩む前に、ぜひ市の子育て支援サービスを利用して、楽しい育児ライフを送っていただければと思います。